

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（2月分）

留学先大学：Vytautas Magnus University

氏名：金子 のの子

Laba diena! (こんにちは!) 2月は、リトアニア語で Vasaris(ヴァサリス)といます。2月下旬は、マイナス 15~20° まで気温が下がる日が続き、外に出ると、冷たい空気に体がギュッと締め付けられるような感じでまだまだ寒さが厳しいカウナスです…。鼻や耳が寒さでツーンと痛くなるのを久しぶりに体感して、私の故郷である北海道を思い出し、こんな中、学校に通っていたなあとんだか懐かしく感じてしまいました。そんなわけで、2月の報告書ははじめます!

【授業がスタート!】

2月1日(木)から履修登録期間(およそ2週間)が始まり、全学部の授業が開講されます。この期間の授業は、ほとんどがイントロダクションでお試し受講のようなものです。私は自分の興味がある授業は全て参加して、授業の雰囲気や講師の授業の進め方などを見てから、学びたいと思える授業かどうかを考えて、履修を組んでいきました。留学する前に、授業リストを見て、何を取るか大まかに決めていましたが、ほとんど変更しました。実際の授業を受けることで、想像していた内容と違っていたり、この講師は声が小さいなどか、魅力的な授業かどうかなどを自分の目で見て確かめられるので、自分の学びたいことや単位と相談しながら決めることができました。大学の授業の他に、杉原千畝記念館で週2回のインターンシップを行います。(インターンについては後ほど詳しくお伝えします)

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
	Lithuanian Language 9:15 -10:45		Lithuanian Language 9:15 -10:45	Internship in Sugihara House
	Internship in Sugihara House	European Identities 11:15 -12:45	Development Politics 11:00 -12:30	
Media Studies 15:00 -16:30				
Global Politics 17:00 -18:30				

上に載せたのが、今期セメスターの時間割です。5つの授業で合計22ECTSとなっています。VMUでは、ロシア語やフランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、韓国語、日本語などの語学系や、政治科学外交学部では、EUや国連の政治、ソ連崩壊後の政策など、まさにここで学ぶべき科目が英語で開講されています。また、学部に限らず授業を受けられるので、自分の興味や関心を広げて学ぶことができ、どの授業を取るか迷うくらいに充実しています。交換留学なので、福井大学と単位交換可能な科目を選ぶことも必要ですが、自分が取りたいと思った授業を優先して取ろうと決めて時間割を組みました。

◆どっちにしよう!?

取りたい授業の時間帯が被って、どちらかを選ばないといけない時どうしますか? 実際、私は被りが発生して、ぎりぎりまで悩みました。European Identities か Conflict Resolution in Developing Countries にするか、どちらも魅力的な授業です。ヨーロッパの国に来たからこそ、ヨーロッパのアイデンティティとは何なのかを知りたい。でも、発展途上国の紛争解決は自分の学びたいことでもある。ここで私がとった手段は、先生で決めちゃおう作戦です。この先生の授業だから受けたいと思える方にしました。European Identities の先生はまさにそう思わせる授業をしてくれる人です。パワーポイントは一切使わず、たまに要点を黒板に書く以外、授業のほとんどは先生のトークです(たまにリトアニア語が混ざる)。内容は Identity の定義から始まり、時代によってその捉え方が変わってきたこと、そしてヨーロッパの Identity を歴史的出来事や知識人たちの考えと共にみていくというものです。内容だけ聞くと難しそうに感じると思いますが、正直、難しいところもありますが、身近な例を取り上げたり、ユーモアを交えてわかりやすく解説してくれるので、1時間半があつという間に感じる程、その先生の授業は面白い。受けたらわかります!

◆授業の主体は学生

Global Politics という授業では、世界中で活動している NGO の役割やテロリズムについて、メディアと戦争の関わりなど、世界で起きた、また起きている出来事と関連させながら学ぶことができます。授業が始まると、まず先生が学生に、この1週間で起きた世界の出来事を聞きます。そして、学生は自分が気になったニュースを発表し、それに対して先生がコメントをしていく対話型の授業です。授業のほとんどがこの時間にあてられるくらい、学生が積極的に発言していきます。また、1週間の間に、こんなにもたくさんの事があらゆる場所で起きているんだなと実感します。初めて授業を受けたときに、自分には知らないことだらけだと思い知らされました。他の学生の知識量に驚くと同時に、日々世界の出来事に関心をもたないといけないなと思いました。それから毎日寝る前、歯磨きをするときに今日1日の海外ニュースをチェックするようにしています。毎日のルーティンの中に組み込むことで自然とそれが習慣化していくので、無理なく続けられます。

こちらの授業を受けると、私が思うあるべき授業の姿があたりまえのように見られます。学生が自分の意見や疑問を先生に述べて、それに対して先生がレスポンスをする。一方通行ではないから、授業に本当に参加していると感じるし、何より自分のためになる授

業だと感じます。座ってただ先生の講義を聞くのは日本でもできるし、同じことをここでやっても仕方がないと、初めの方は授業に受け身だった自分を反省しました。2月はこんなじゃだめだと反省ばかりしていた気がします。

【日々の生活！】

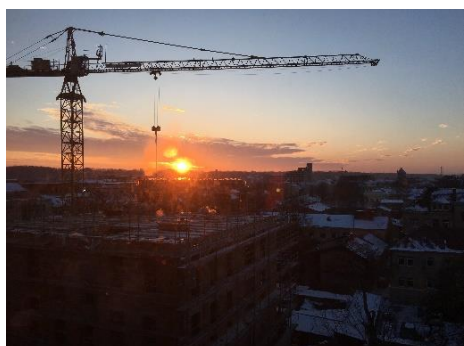
授業の話ばかりでは退屈なので、2月に撮った写真をいくつか載せようと思います！2月は、本格的に授業やインターンが始まったのでちょっぴり忙しい日々でした。でも、リトアニア独立100周年のイベントへ行ったり、友だちとスケートしに行ったりと楽しく過ごせました。



2月16日は独立100周年！カウナスの街はリトアニアンカラーでいっぱいです。



左から、ポテトパンケーキ、黒パンの器に入ったキノコスープ、ロールキャベツ。



寮の部屋から撮った外の景色と、ショッピングモールにあるスケート場にて。

◆次回は…

日々の暮らしとバスケ観戦、春のお祭りなどをお伝えできればと思います！